歴史を訪ねる 高野街道

かつて高野山へ参る道として栄えた高野街道。
京から続く「東高野街道」、大阪から続く「中高野街道」、堺から続く「西高野街道」、それらの道は河内長野で一つの「高野街道」となり、高野山へと続いています。古の道に想いを馳せて散策してみませんか?

1 松林寺
鎌倉時代の創建で、江戸時代に僧勝堂秀栄(れいどうしゅうえい)によって再興されたと伝えられる。貞享二年(1685)に瀬海石が製作した不動明王坐像(府指定)がある。

2 与津ノ辻
西高野街道と中高野街道の合流地点

3 盛松寺
「与津(よつ)のお大師さん」と呼ばれ、毎年冬至には弘法大師ゆかりの柚子みそが参拝者に配られる。

4 晴明塚
天皇の病平癒の際、天候占いに失敗した安倍晴明が洗浄を装し、書物をここに埋めたと伝えられる。

5 西代藩陣屋跡
正徳元年(1711)、二代藩主本多忠統(ただむね)は、藩陣屋を西代村に置いた。長野小学校の正門は、陣屋門を模している。

6 極楽寺
法明を開基とする融通念仏宗の寺院。近世初期の市域には極楽寺の末寺が多かった。

7 天野酒
古くから天野山金剛寺で作られた僧坊酒。室町～戦国時代にかけては豊臣秀吉など著名な武将にも好まれた。また、現在天野酒を製造している西條合資会社の旧店舗は、幕末～明治初期の建築で、国登録有形文化財。

三日市宿
高野街道沿いの宿場町として江戸時代以降にぎわった。

8 油屋跡
高野山御用宿として江戸時代以降栄える。明治期には、錦渓温泉の温泉宿として、貴族の水車は元の油しぼり業の名残で名物だった。昭和五十年代に廃業。幕末に五條へ向かう天誅組が休憩した。

9 延命寺
延宝五年(1677)浄厳和尚によって建立された。紅葉の名所として有名で、境内にある「夕照もみじ」は府の天然記念物に指定されている。

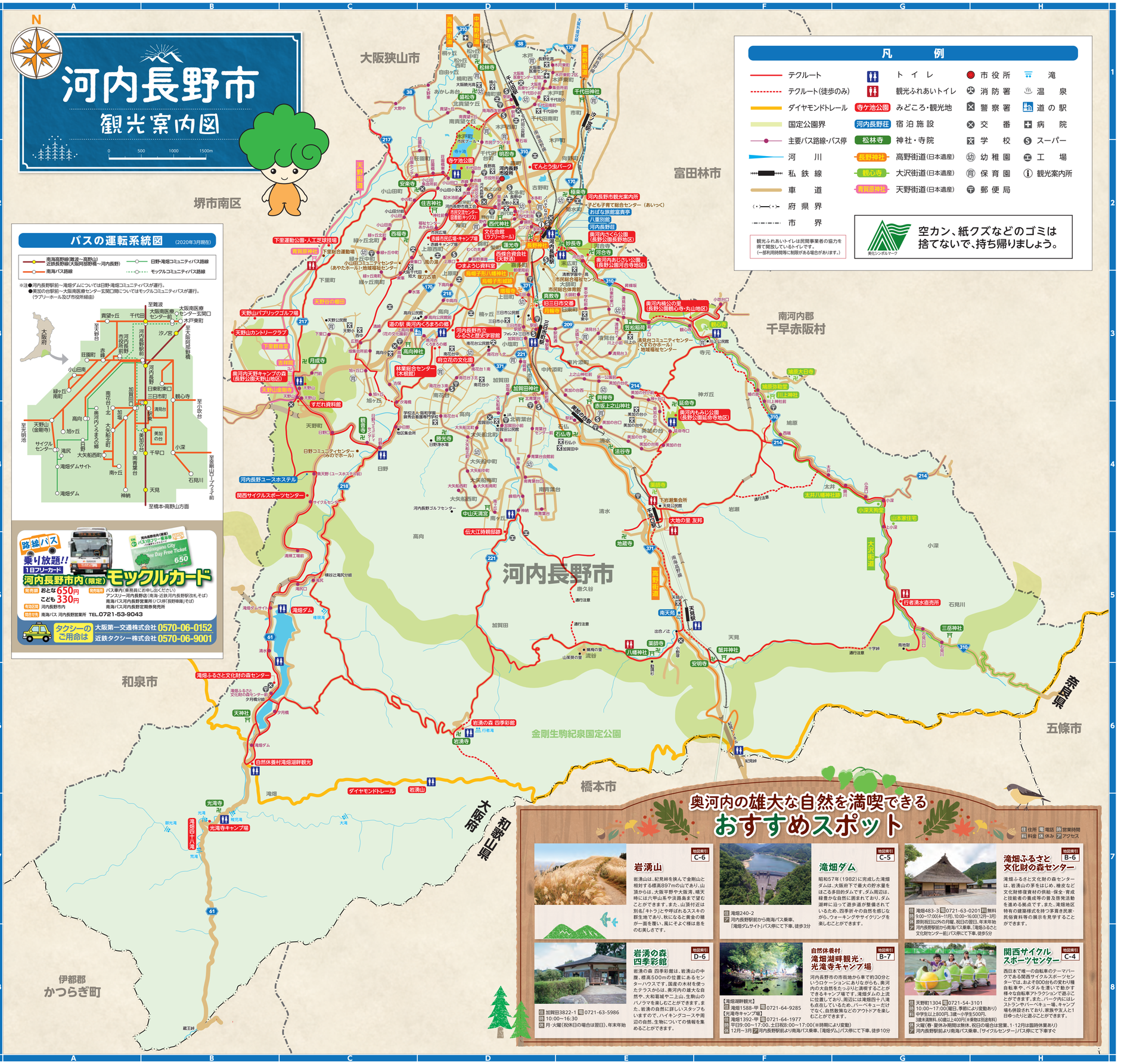
10 御所ノ辻
後村上天皇が吉野から天野山金剛寺へ向かう途中ここで休憩されたことにちなむ。今も地蔵堂の屋根や吾立ては笠の紋章が残っている。地蔵堂には高野山、金剛山への道を示す道標がある。

11 松明屋
弘法大師が高野山を開くため京都から旅の途中、この地で夜が明けたので休憩し、もてなしを受けた。お礼に大師は粽の製法を教え、別れに際して松明の燃え残りを地中に突き立てて立ち去った。その松明から根が生えやがて大樹となった。

12 南天苑
東京駅の設計など多手掛けた建築家・辰野金吾氏が設計した、堺市大浜公園に建てられた建物が昭和10年(1935)に移築されたものです。昭和初期の和風近代建築の特色をよく残し、現在も温泉旅館として営業されています。

13 出合ノ辻
南北朝時代の古戦場跡(安清見合戦)。楠木軍と幕府軍のがここで出会い、激しい戦闘が繰り広げられたと伝わる。

14 八幡神社
長暦三年(1039)創建。延元五年(1340)の年号が刻まれた準梁やイチョウの大木は府指定文化財。社殿背後の森は野鳥など小動物の宝庫である。

15 蟹井神社
天喜二年(1054)創建。南北朝の頃、楠木氏一族が戦勝祈願したと伝わる。延宝四年(1676)の火災で焼失したが再建された。

16 島の谷
美しい紅葉風景が残っている。